



火災避難訓練～自分の身を守るために～

12月11日(水)5校時に、火災避難訓練を実施しました。今回は、職員室から出火したという想定での訓練でした。初期消火に職員があたり、事務室からの通報訓練もしながら、子どもたちの運動場への避難誘導も行いました。東消防署の方々にも避難の様子を見ていただきました。

警報器がなり、避難指示が出て、全員の集合が完了したのが、3分50秒後でした。東消防署の方々からは、時間的にとてもスムーズであったということ、また避難する子どもたちの様子も落ち着いて、真剣にできていたということ褒めていただきました。

その後、消火器を使う体験を代表の子どもたちと先生方で行いました。「ピノキオ」(ピンを抜く→ノズルを火に向け→距離(キヨリ)をとる→押(オ)す)のタイミングで消火器を使うとよいなどの説明もありました。

最後に高学年の子どもたちが消防署の方々へ感想を伝えました。「しっかり放送を聞くことや、周りを見て、安全に気を付けて避難することが大切だと思いました。」や「改めて火災の原因や、いざという時に身を守る方法を知ることができました。」等と発表していました。



初期消火にあたる先生方の様子



消火器を使う訓練(代表児童の体験)



消火器の訓練(先生方も体験)

なかよしタイム ～異学年交流～

朝自習の時間やお昼休みを活用して、ペア学年で楽しむ「なかよしタイム」が月に1回ずつ行なわれています。先日、1年生と6年生が朝の時間を使って「なかよしタイム」をしていました。

6-1は1-1に対して「アンパンマン」の劇を創り、1年生に見せたり、一緒にダンスを踊ったりしていました。6-2は1-2と一緒に「爆弾ゲーム」(音楽に合わせて3つの風船を回し、音楽が止まったところで風船を手にしていて人は自己紹介をするというゲーム)を行っていました。

最後に、感想交流。何と1年生が手を挙げ、「ぼくたちは、6年生に大事にしてもらっているということを思いました。」と発表していました。それを聞いた6年生は最高の笑顔を見せていました！また、このような素敵な気持ちを言葉にできる1年生の姿に感動したものでした。



とれたてショウガ！

先日、若葉農園から「ショウガを子どもたちに見せてね」と言って持ってきてくださいました。ショウガの露地栽培は秋が旬なのだそうです。子どもたちは「ジンジャー!!」と言いながら、足を止めて見入っていました。